



ろう 鳥取聾学校図書館

「みんなが来たくなる図書館」を
目指して

鳥取県立鳥取聾学校

司書 古田 晶子



本日の流れ

1. 鳥取聾学校の概要
2. 本校図書館で意識していること
3. 日本語獲得や読書に「つまずき」のある場合
4. 手話による絵本の読みきかせについて
5. 中高等部の図書館利用について
6. これからの課題



鳥取県立鳥取聾学校



本校 (鳥取市宮下)

明治43年7月10日創立(114年目)



ひまわり分校 (米子市上福原)

平成6年開校(31年目)

1. 鳥取聾学校の概要(R6年度)

- 障がいの種別 聴覚障がい
- 幼児児童生徒数 本校:21名 分校:11名
- 学級数 本校:15学級 分校:7学級
- 教職員数 本校:61名 分校:27名

学校教育目標

聴覚障がいのある幼児・児童・生徒一人一人の教育的ニーズに対応した適切な教育を行い、自立と社会参加に向けて豊かな心とたくましく生きる力を育てる。



鳥取聾学校学部紹介(R6年度)

- 幼稚部 (3~5歳児) …本校:3名 分校:4名
- 小学部 …本校:5名 分校:7名
- 中学部 …本校:5名 分校:在籍者なし
- 高等部 …本校:8名



- 支援部 …0歳児からのきこえやことばの教育相談・支援、
地域の小・中学校での通級指導や難聴学級へのサポート、
関係機関への啓発、連携など、センター的機能を果たしている

2. 本校図書館で意識していること



本校図書館で意識していること①



- ・ 視覚的に分かりやすい掲示、展示、配置

- ・ 県産材を利用した、背丈の低い書架を設置し、幼児児童生徒が本を選びやすい環境作り



生徒が書架へ返却する時に分かりやすいよう、分類ごとにラベルの色を変えている



- ・ 掲示、おたよりなどに読みがなを付ける

本校図書館で意識していること②

- 乳幼児から高等部生徒にまで対応できる幅広い選書
- 聴覚障がい関係、手話などに関連した本の収集・充実
- 保護者にも利用してもらえる図書館



↑ 乳幼児向けの絵本

ベストセラーなどの
話題の本↓



↑ 聴覚障がい、手話
関連の図書コーナー→



本校図書館で意識していること③

- 障がいに配慮した、読書バリアフリーのためのツールや資料の設置



↑ 筆談器

基本は手話に声を付けてのコミュニケーション。手話が伝わりにくいとき、細かいニュアンスを伝えたいときなどに使用する。



↑ リーディングトラッカー



本が読みづらい、読書が苦手、集中して読書を楽しみたい人などをサポートする読書補助具



写真やイラスト、ピクトグラムを使い、視覚的にわかりやすく表現されている



↑ LLブック

3. 日本語獲得や読書に 「つまずき」がある場合



日本語獲得や読書に「つまずき」がある場合①

言語獲得期以前に失聴すると、音声言語が耳から入りにくいので、日本語の獲得が困難→読書や文章を読むことに対するつまずきがあることも少なくない。

【つまずきの一例として】

- 語彙量が少ない
- 字面が似ていると混同しやすい
- 漢字の読み方の違い【例：^{いちにち}一日かかる、^{ついたち}一日に行く、^{いちじつせんしゅう}一日千秋】
- オノマトペ（擬音語・擬態語）が理解できにくい など

【混同しやすい例】

耳たぶ→耳ぶた、あらたに→あたらかに
ビル→ビール、
まきじゃく→まじゃくし
(おたまじゃくしとの混同?)

〈参考文献 「聴覚障害教育これまでとこれから」/脇中 起余子 著〉

日本語獲得や読書に「つまずき」がある場合②

～手話の言語体系～

- 日本手話 …主にろう者によって使用される、音声言語とは全く異なる独自の語彙と文法体系を持った自然言語

(参考文献 「聴覚障害教育これまでとこれから」/脇中 起余子 著)

例) 「私は、いちごが好きです」



日本手話での手話表現↑

- 日本手話 → 「私 + 好き + 何 + いちご + 私」
- 日本語に対応した手話 → 「私 + いちご + 好き + です」

4. 手話による絵本の読みきかせ



手話による絵本の読みきかせ①

- 図書館司書による手話の読みきかせ



幼稚部 図書館オリエンテーション 小学部 読みきかせ(国語など)

支援部 イベント

声・口形・手話・指文字・ジェスチャーなどを合わせてお話をしている。
子どもたちの聞こえ方はさまざまなので、しっかりした声でゆっくりと読みながら、
必要に応じて絵本の絵を指差したりして、できるだけ理解を助けるようにしている。

手話による絵本の読みきかせ②

- 有償ボランティアによる読みきかせ

幼稚部:年5回



小学部:年4回



学校祭おはなし会



(おはなし会たんぽぽ)

読みきかせの様子(幼稚部)



動画 ▶
(1分45秒)

「もっと
たべるのだあれ」

すぎはらけいたろう
/東京書店

● 幼稚部の先生方のコメント

- ・まだ言葉や手話を完全に獲得していない幼児にとって、絵本の読みきかせは、体験したことのない世界を疑似体験できる手段。
- ・お話を聞いてワクワクドキドキしたことが、自分の中の世界になる。びっくり、うれしい、さみしいなどの気持ちを、主人公になりきれることによって「これが嬉しい気持ち」「悲しいきもち」と実感することができる。
- ・表情や身振り、空間を使った手話での読みきかせから、嬉しい表情、悲しい表情などを読み取り、幼児の表情も豊かになる。話に出てきた言葉を、教員も意識して繰り返し使うことにより、言葉や手話の獲得にも繋がっている。

読みきかせの様子(小学部)



動画 ▶
(約2分)

「こめだしいこく」

大黒みほ 再話
/福音館書店

• 小学部の先生方のコメント

• 昔話は、独特の言いまわしや表現があり、手話があることで、意味がよく分かり、物語のおもしろさを感じられているなど、見ていて手話が付くことの良さを実感している。



• 動画の中でも見られるように、読み手の手話を見ながら一緒に手を動かしている児童も見られ、幼稚部同様言葉や手話の獲得にも繋がっている。

動画 ▶

小学部児童の感想

手話による絵本の読みきかせ③

- 聴覚障がいのある教員による読みきかせ



↑ 学校祭 おもしろ図書館の1コーナー



日本語はもちろん大切だが、読み手が一方的に絵本の内容に添った手話表現で読みきかせをするのではなく、表情や空間、指差しや身振りを使って、子どもたちをお話の世界に巻き込み、読んで楽しい、自ら読んでみたいという気持ちを育む。

• 読みきかせの絵本選びで気をつけていること

- 一人ひとりの実態、年齢、興味に沿った内容
- 季節や行事に沿った内容
- 昔話、創作絵本、科学絵本など、内容にかたよりのない選書

-
- 話の内容が伝わりやすい本
 - 絵が分かりやすく見やすい本（細かい絵の本は読み聞かせでは避けている）
 - 音の響きを楽しむ内容の本は避ける

• 読みきかせの時に心がけていること

- なるべく意識をして口をはっきり開ける
- 視覚情報をしっかり保障できるように立ち位置に注意する
- ある程度内容を頭に入れ、子どもの目を見て手話をする
- 本をめくるタイミング、手話のタイミングなどの事前練習を行う
- 難しい手話表現ばかりにならないように気を付ける

など

5. 中学部・高等部の図書館活用



↑ 図書館
オリエンテーション
「新聞を読もう」

図書委員会活動→

【中学部】



↑ 図書館
オリエンテーション
「県立図書館の電子図書を
活用しよう」

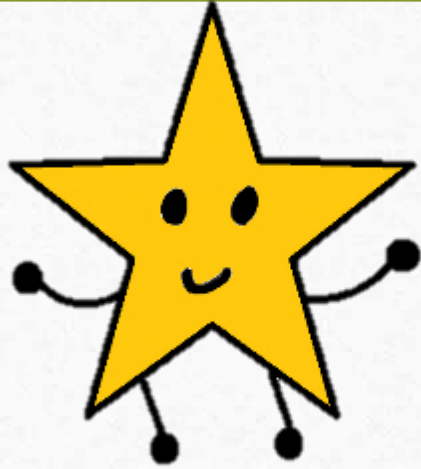
【高等部】

修学旅行に関する
調べ学習↓



6. これからの課題

- ・乳幼児から幼児児童生徒、教職員や保護者まで、図書館や図書を通して、いろいろな人とつながれるあたたかい人間関係づくりの場を目指す
 - ・読書の入り口に立つ幼児児童生徒に、いかに読書の楽しみへの橋渡しができるか
 - ・学習や部活で忙しくなりがちな中高生の図書館利用を増やすこと
-
- ・ipadやUDトーク、電子図書などのICT機器を利用した図書館活用
 - ・マルチメディアデイジーや国立国会図書館の「みなサーチ」の活用
 - ・図書館での本の探し方やルール、資料の読み方を知り、学校外での余暇時間の充実、卒業後の積極的な公共図書館活用などへ繋げる
 - ・少人数であることを活かし、一人ひとりに対応した読書活動についての相談に乗り、読書が生活の一部になるよう支援する



ご静聴ありがとうございました。

